

食品検査（出荷前・流通時）の 体制整備状況と結果

2016年11月8日

福島県環境保全農業課



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

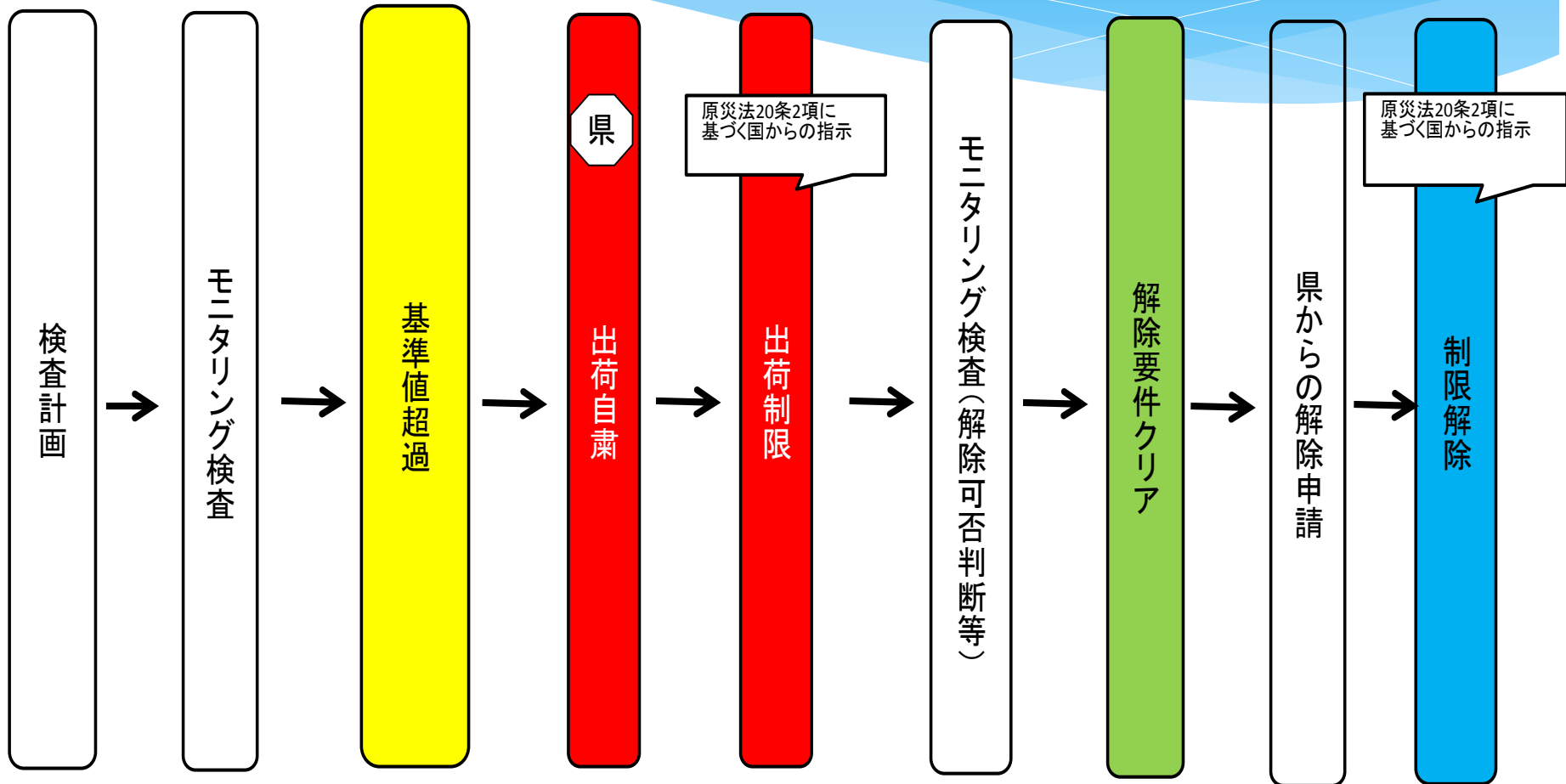
食品中の放射性セシウムの基準値

日本	
(Bq/kg)	
一般食品	100
牛乳	50
乳児用食品	50
飲料水	10

農林水産物に係る緊急時モニタリング検査

- * 原子力災害対策特別措置法に基づき原子力災害対策本部のガイドラインに沿って県が実施
- * モニタリングで基準値を超えた場合は、原則として都道府県単位、区分が可能であれば市町村等の単位に出荷制限等の措置がとられる→ 流通させない
- * 市町村単位で原則1品目3点以上（条件により1点以上）を検査
 - * ■主要な品目・摂取量の多い品目は計測点数を増
 - * ■これまでの結果を考慮して品目により計測点数を増
- * ゲルマニウム半導体検出器を使用
- * 計測の結果はただちに通知と公表
- * 出荷管理状況調査により出荷制限等品目が流通していないことを確認

モニタリングから制限解除までの流れ



震災後の取組



樹皮の洗浄



樹体の洗浄

震災後の取組(反転耕)

反転耕



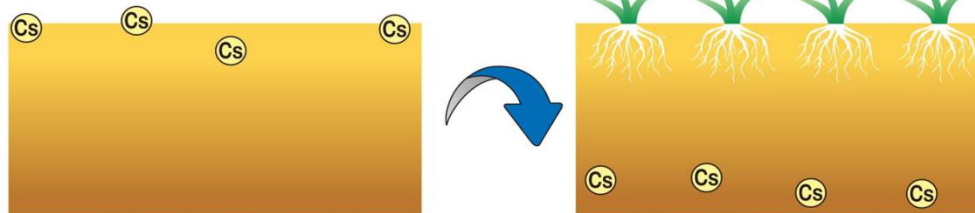
放射性セシウムの特徴



放射性セシウムは粘土に吸着し吸収されにくい
地表面の5cm以内にとどまる

Copyright© : 福島県 Fukushima Prefectural Government

Cs セシウム



反転耕

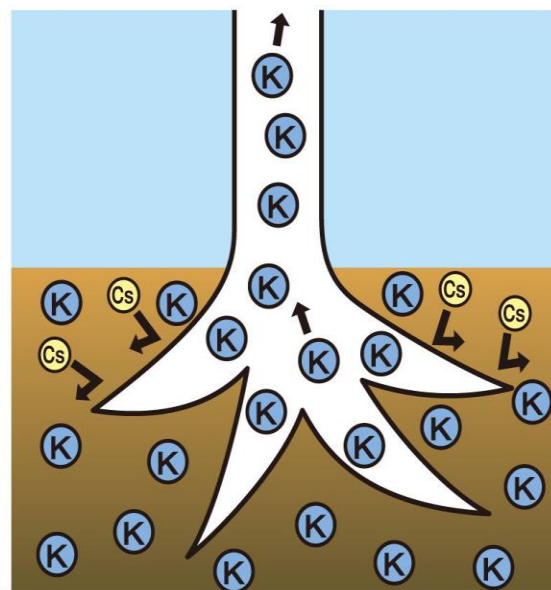
表層の土と深い位置の土を入れ替える

Copyright© : 福島県 Fukushima Prefectural Government

震災後の取組(吸収抑制対策)



吸収抑制剤の散布
(カリウムの施肥)



カリウムの施肥

(K) カリウム
(Cs) セシウム

カリウムを土壤に豊富に含ませると
放射性セシウムの吸収を抑えられる

©福島県

モニタリング検査の経過

- * 2011年3月16日から検査を(財)日本分析センター(千葉県)に測定を委託して開始
- * 2011年6月20日から福島県農業総合センターにGe半導体分析器4台を設置し、分析業務を開始
- * 2011年7月11日に「農林水産物を対象とした緊急時環境放射線モニタリング実施方針」を策定
- * 2011年9月1日から福島県農業総合センターに分析課を設置、Ge半導体分析器6台を増設し10台体制とした
- * 平成24年4月に食品衛生法の暫定規制値から基準値に移行
- * 2016年3月に福島県農業総合センターにGe半導体分析器1台を増設し11台体制で分析を実施

福島県の農林水産物緊急時モニタリング検査の実施体制

制限・解除等

国（厚生労働省等）

オフサイトセンター
【情報を一元的に管理】

（原子力災害対策特別措置法に定める「緊急事態応急対策拠点施設」）

全体調整窓口

環境保全農業課

計画調整
通知・公表

食品生活衛生課

農林水産部内
関係課

分析・集計

農業総合センター

穀類、野菜、果樹、畜産物
きのこ、山菜、魚介類等

衛生研究所

加工食品等

サンプル採取・調整

県が実施

モニタリング検査の流れ

可食部が対象



①検査機関に搬入



②検査前のチェック



③細かく刻む



④容器に詰める



⑤ゲルマニウム半導体検出器で測定



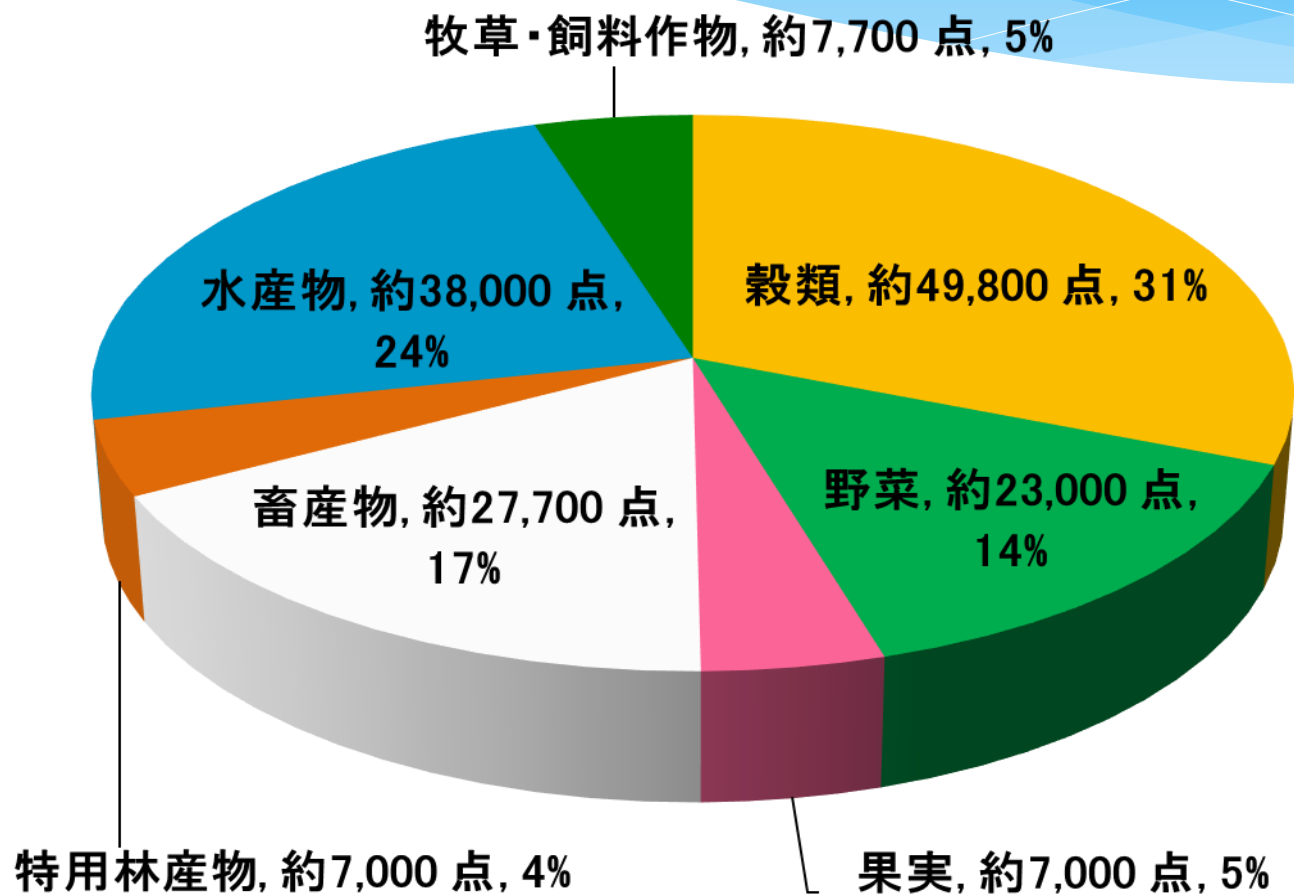
モニタリング検査の検査品目・点数

年度	品目数	検査点数	基準値超過点数 (全体に占める割合)
2011年	542	19,971	681 (3.41%) ※
2012年	509	61,531	1,106 (1.80%)
2013年	469	28,770	419 (1.46%)
2014年	488	26,041	113 (0.43%)
2015年	496	23,855	18 (0.08%)
計	—	160,168	—

※平成23年度の基準値超過点数は暫定規制値500Bq/kgを超過した点数

モニタリング対象品目の割合 (2011年3月～2016年3月)

○延べ約700品目 ○これまでに約160,000点の分析



モニタリング検査の概要①

区分	品目名	区域	検体採取の時期	頻度	基準値超過時の扱い
穀類	米	旧市町村(昭和25年2月1日現在)	集荷時	全量全袋検査でスクリーニングレベルを超過したもの。	超過したものは隔離・処分
	大豆	原則市町村 一部区域において 旧市町村(昭和24年4月1日現在)		区域単位で3点以上 (一部区域を除く)	区域単位で出荷制限
	そば			区域単位で1点以上 (一部区域を除く)	
	小豆				
	麦類	市町村		区域で1集荷単位以上	超過したものを含む集荷単位で出荷制限
野菜等	野菜・果実類	市町村	出荷開始前から 出荷初期段階	原則として区域単位で3点以上(品目・区域によっては1点以上)	区域で産出される超過した品目について出荷制限
きのこ・ 山菜類等	野生山菜	市町村	収穫時	原則として区域単位で3点以上(野生山菜は品目・区域によっては1点以上)	区域で産出される超過した品目について出荷制限
	野生きのこ				
	栽培わらび		出荷前	原則としてほ場ごとに1点以上(解除がされた区域は生産者ごとに3点以上)	
	栽培きのこ			週1回以上、生産者単位	

モニタリング検査の概要②

区分	品目名	区域	検体採取の時期	頻度	基準値超過時の扱い
畜産物	牛肉	市町村	と畜時	全頭	超過したものは出荷制限
	豚肉	市町村		月2回以上	区域で産出される超過した品目について出荷制限
	鶏肉	市町村		月2回以上	
	馬肉、その他の肉	市町村		出荷計画による	
	原乳	市町村(CS単位)	集乳時	集乳時にCS単位で週1回以上	CSに属する区域単位で制限
	鶏卵	県域(パッケージセンター単位)	集荷時	月1回以上	区域で産出されるものを出荷制限
	はちみつ	市町村	出荷前	市町村単位で1点以上	区域で産出されるものを出荷制限
水産物	水産魚種	水域	漁期前、漁期中	週1回以上	区域で産出されるものを出荷制限
	内水面魚種	河川、湖沼			
飼料作物	永年牧草 単年生飼料作物 稲WCS 稲わら等	市町村または個別農家単位	収穫時	各集草時	利用制限

モニタリング検査の結果(2016年度)

県産農林水産物のモニタリング等状況

(2016年4月1日～2016年9月30日)

※「玄米」のみ、2016年8月24日～2016年10月24日

種別	検査数	基準値超過数	超過数割合
玄米(2016年産)	約 553 万件	0 件	0.00%
野菜・果実	2,534 件	0 件	0.00%
畜産物	2,174 件	0 件	0.00%
栽培きのこ	341 件	0 件	0.00%
水産物(海産)	4,214 件	0 件	0.00%
水産物(内水面)	492 件	1 件	0.20%
山菜・野生きのこ	1,015 件	2 件	0.20%

米の全量全袋検査



①玄米袋の検査場への持込



②袋をベルトコンベアに載せ、検査器で測定



③結果がスクリーニングレベル以下であれば合格



(イメージ)

④検査済ラベルを貼付して出荷



⑤結果はウェブで確認可能

<https://fukumegu.org/ok/kome/>



⑥検査を通った玄米のみが精米され食卓へ

情報の発信と風評対策①(見える化)

県のモニタリング検査結果を迅速に公表

<http://www.new-fukushima.jp/>

ふくしま新発売。

未来へ向けて歩みを進める福島を
全国の皆様に伝えていきます。

このサイトは福島県が運営しています 

Toward a new future of Fukushima

4カ国語に対応

このサイトについて

農林水産物
モニタリング情報

新発売プロダクト

ふくしま
動画放送局

イベント情報

プレゼント

Foreign
Language

よくある質問とその回答 お問い合わせ



品目・地図から検索可能

農林水産物モニタリング情報



情報の発信と風評対策②(見える化)

産地の自主検査結果を迅速に公表

<https://fukumegu.org/ok/contents/>

ふくしまの恵み安全対策協議会

English

プライバシーポリシー

よくあるご質問

ふくしまの恵み

ふくしまの恵み安全対策協議会では、産地が行う放射線検査などの情報

品目・地図・市町村名から検索が可

まずは、検索！

品目から探す

地図・産地から探す

市町村名から探す

放射性物質検査情報

こめ

やさい

くだもの

そば・大豆



最新情報

▶ 8月10日【お知らせ】平成28年度福島県産米精米袋用ラベルについて掲載しました

最新情報一覧へ

県内の取組状況



各地域の情報や取組はこちらから

トピックス



平成28年度の精米ラベルについて



農林水産物の放射性物質に係る担当者を対象とした研修会を開催しました(福島県ホームページ)



トップ



取り組み



検査のしくみ



精米ラベル



PR資料